

Fuji Champion Race Series Round 6

AE86/MR2/NA1600/SILVIA

Round 4

Audi



シリーズチャンピオンの行方が最終戦までもつれ込んだこのカテゴリー。各クラス上位2台のどちらかが優勝したドライバーがチャンピオンを獲得するという混戦となっている。予選でトップタイムを出したのはスポット参戦のN1600 99 パワーハウス&サン整備92 竹内秀伸 1'57.910のタイム。シルビアのトップはポイントリーダーの11 REXCELまつおかシルビア 大山雅樹 1'59.077、同点争いのMR2は78 ダイエーモータースDXLMR2 谷田伸行がトップ。AE86はポイントリーダーの40 AS 柳本SPMアクレ86レビン 柳本文彦。決勝はスタート直後から激しい争い、NA1600の4台が周回ごとにトップが入れ代わり、その他のクラスでもトップ争いが続く。12週のレースで最初にチェッカーを受けたのはポールトゥウィンを飾った99竹内だった。レース後「楽しかったです、皆慣れているし安心してバトルが楽しめました」と話していた。シルビア優勝の24 ディバージョンPS13シルビア 瀧下貴之は「台数集まりそうなのでエントリー、いろいろな方のお世話になりました」 AE86優勝の40 柳本は「後ろ見たり、隣見たり皆でミスしたりと楽しかったです！」と話していた

**RESULT リザルト MR2**

Rank No.	Name
1	25 藤永 雅彦

**RESULT リザルト NA1600**

Rank No.	Name
1	99 竹内 秀伸
2	64 矢島 篤
3	12 なかむら ともき
4	37 秋元 優範
5	31 高橋 賢一

**RESULT リザルト AE86**

Rank No.	Name
1	40 柳本 文彦
2	240 山口 崇
3	36 大石 重之
4	16 朝倉 潤司
5	41 中村 徹
6	48 深沢 泰司

**RESULT リザルト SILVIA**

Rank No.	Name
1	24 瀧下 貴之
2	79 小林 真一
3	11 大山 雅樹

ROADSTER CUP NA6/NA8/NB8

Round 4



このカテゴリーではNB8クラスが前回までに11 JoyアクレMotys☆NB8 戸田裕一がシリーズチャンピオンを決めているが、NA8とNA6は最終戦にチャンピオン争いもつれ込んでいる。朝一番の予選でポールポジションを決めたのはNA8 1 大山ベリーアクレMotyNa8 山形卓2'06.475のタイム、フロントローにはNA6のトップ、7 大山ベリーアクレMotyNA6 茂木文明がコースレコード更新の2'06.623で並ぶ。NB8トップの戸田裕一は2'06.872で総合4番手からのスタート。11:35からの決勝レースでは、スタート直後に1コーナーでアクシデントがありSC導入。1周でSCが抜けて再スタートがけられる。トップの1山形は徐々に後続を引き離しポールトゥウィンを飾る。2番手以降は激戦が最後まで続き、スタート直後のSCなどでペナルティも多く荒れた展開となるが8週のレースは総合・NA8優勝が1 山形、NA6は23 JoyアクレMotys☆NA6 山川穰、NB8は11 戸田という結果となった。1山形は「後ろが揉めていたので引き離しにかなりコースレコードを狙ったのですが出せませんでした。来シーズンがんばります」と話していた

**RESULT リザルト NA6**

Rank No.	Name
1	23 山川 穰
2	76 辻本 均
3	27 野木 強
4	7 茂木 文明
5	16 野田 宗男
6	82 勝とう 常時

**RESULT リザルト NA8**

Rank No.	Name
1	1 山形 卓
2	88 山田 健介
3	71 山本 純一

**RESULT リザルト NB8**

Rank No.	Name
1	11 戸田 裕一
2	91 神谷 誠
3	75 澤田 薫
4	41 後藤 満
5	24 東 宗明
6	78 赤石沢 清人

ROADSTER CUP NC/DEMIO RACE/8Beat Round 4



ロードスターカップNCとデミオに8Beatが混走するこのレース。ここまでのポイントはNCオープンクラスのトップは0 モティズベリケンオートNC 小原健一が連勝でトップ、そこに15ポイント差で64 Joy☆アクレMoty'sNC芝本淳が追う形。デミオも連勝の75 145デミオ改withSKR 西山隆にこちらも15ポイント差で34 TR-Factoryデミオ 常盤岳史が追う。予選のトップタイムでポールポジションからのスタートは8 Beat JP-2R 9プロコンジットBLITZ86 古田 聡 2'02.427のタイム。NCオープンは0小原が記録更新の2'06.725、デミオはこちらも記録更新の2'17.819 75西山がトップからのスタートとなった。決勝では予選トップのドライバーが徐々に後続を引き離しにかり優勝を決めた。決勝中にさらにコースレコード更新を果たした0 小原は「オープニングラップで並んでいたけれど逃げ切りました。後は86との戦い。今日は誕生日で自分へのプレゼントが出来てシリーズを締めくくりました」と話し、デミオ75西山は「レギュレーションが変わってマシンが大丈夫かと心配でしたが直前でセッティングが決まってスタートも上手いき、あとは後ろを見ながら走りました」と話していた。

Fuji Champion Race Series

RESULT リザルト RSC NC-0

Rank No.	Name
1	0 小原 健一
2	64 芝本 淳
3	21 新井 敏克
4	80 染谷 浩一

Fuji Champion Race Series

RESULT リザルト RSC NC-C

Rank No.	Name
1	71 登坂 紀
2	18 ランマン
3	22 中桐 孝治

Fuji Champion Race Series

RESULT リザルト DEMIO RACE

Rank No.	Name
1	75 西山 隆
2	34 常盤 岳史
3	9 安居 政則
4	51 戸田 和彦
5	5 里見 景一

Fuji Champion Race Series

RESULT リザルト 8Beat 2S

Rank No.	Name
1	05 稲田 昌文
2	222 河村 直哉
3	12 ウズラ
4	49 清 充秀
5	14 石井 尚顕
6	7 伊藤 毅

Fuji Champion Race Series

RESULT リザルト 8Beat 3S

Rank No.	Name
1	13 市川 忠康
2	6 坂本 猛彦
3	1 木幡修一郎

RESULT リザルト 8Beat 2R

Rank No.	Name
1	99 古田 聡
2	555 たしじゅん



AE111/ROADSTER Round 4



このカテゴリーはAE111クラスが前戦まで全勝で78 トウワケミカル高田μトレノ 冥賀直文がシリーズチャンピオンを決めている。NA6はこの最終戦で決着がつく。ポールポジションからスタートとなったのはAE111 90 千自総大ロフティPハートトレノ 本吉正樹、NA6のトップは1 コーンズIDIロードスター 雨宮恵司となった。決勝では3周目に5番グリッドから追いつけたポイントリーダーの78 冥賀が追いつきトップに立つ。一方NA6クラスは周回ごとにトップが入れ代わる激戦が最後まで続く。10週のレースを前半からトップに立ち逃げ切った78冥賀が今シーズン全勝でトップチェッカーを受け、NA6クラスではコンマ差で先にチェッカーを受けた2 コーンズIDIロードスター 大野俊哉が優勝し、シリーズチャンピオンの座も手にした。78 冥賀は「スタートミスしたけれど本吉さんを見ていたらもしかしいてくれるかも! ?」と思いつけました、予選ではペナルティやっちゃいました」とコメントしNA6 1 大野は「予選はまあまあ良かったのですが、決勝はキツかった! 今まで一番キツイレースでしたがすごく嬉しいです」と話していた



RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	78 冥賀 直文
2	90 本吉 正樹
3	31 安藤 さとる
4	91 窪田 範明
5	23 藤木 学
6	40 山本 秀一

RESULT リザルト ROADSTER

Rank No.	Name
1	2 大野 俊哉
2	11 八田 新一
3	48 芝田 敦史
4	1 雨宮 恵司
5	24 田辺 良輔
6	22 小林 弘典